

- 11 章 23, 24 節 「彼らであっても、もし不信仰の中に居続けなければ、接ぎ木されま
す…もし、あなたが自然によるオリーブの木から切り取られ、自然(元の性質)に反
して、栽培された(良い)オリーブに接ぎ木されたのであれば、さらにいっそう、自然
のうちにあるこの者たちは、自ら固有のオリーブに接ぎ木されることでしょう」
- 11 章 25-27 節 「私はあなたがたに知らないでいて欲しくはありません、兄弟たちよ、
この奥義に関して。それは、あなたがたが自分を知恵ある者としなためです。そ
れ(奥義の内容)は、イスラエルの一部の頑なさが生まれたのは異邦人の満ちる
時が来るまでであること、またそれによって、すべてのイスラエルが救われること
です。それは、次のように記されているからです。『シオンから救い出す者が現れ
る。そしてヤコブから不敬虔を除き去る。これこそ、彼らと結ぶ(彼らのために結ぶ)
わたし(から)の契約である。それはわたしが彼らの罪を取り除くときである』と」
- 11 章 28,29 節 「福音に関しては、あなたがたのゆえに彼らは神に敵対している者で
す。しかし、選びによれば、父祖たちのゆえに神に愛されている者です。それは
取り消されることがないからです、神の賜物と召命は」
- 11 章 30-32 節 「それはちょうど、あなたがたはかつて神に不従順でしたが、今は彼ら
の不従順のゆえにあわれみを受けているのと同じように、彼らが今、不従順であ
るのは、あなたがたのものとしたあわれみのゆえで、それは彼ら自身も今、あ
われみを受けるためなのです。すなわち、神がすべての者を不従順に閉じ込め
たのは、すべての者をあわれむためだったからなのです」
- 11 章 33-36 節 「ああ、何と深いことでしょう、神の知恵と知識の豊かさは。それは
何と極め難いことでしょう、そのさばきは。また何と測りがたいことでしょう、その道
は。というも『だれが、主の心を知っているのですか、だれが、この方の助言者
になったのですか。また、だれがまずこの方に与え、この方からの報いを受けるの
ですか。すなわち、すべてのものがこの方から発し、この方によって成り、すべてがこ
の方に至るからです。どうかこの方に、栄光がとこしえにありますように、アーメン』」
- <引用聖句>
- (ヨハネ 3:8) 「風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来て、ど
こへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです」
- (マタイ 24:14) イエスは言われた、「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、
すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます」
- (イザヤ 59:20,21) 「しかし、シオンには贖い主として来る。ヤコブの中の、背きから立ち
返る者のところに。—主のことば。これは、彼らと結ぶわたしの契約である」
- (イザヤ 59:11,15b,16) 「公正を待ち望むが、それはなく、救いを待ち望むが、私たちか

ら離れている…主(ヤハウェ)はこれを見て、公正がないのに心を痛められた。主は人が
いないのを見て、とりなす者がいないことに啞然とされた。それで、ご自分の御腕で
救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた」

- (イザヤ 27:9) 「次のようにしてヤコブの不義は赦される。祭壇の石をすべて、粉々に
された石灰のようにし…これが、自分の罪を除いて得る実のすべてだ」
- (イザヤ 25:1,6-8) 「主(ヤハウェ)よ…あなたは遠い昔からの不思議なご計画を、まこと
に真実に成し遂げられました…永久に死を呑み込まれる…主は、すべての
顔から涙をぬぐい取り、全地の上からご自分の民の恥辱を取り除かれる」
- (イザヤ 26:19) 「あなたの死人は生き返り、私の屍は生き返ります。覚めよ、喜び
歌え。土のちりの中にとどまる者よ…地は死者の霊を生き返らせませす」
- (エレミヤ 31:34,35) 「これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうで
ある…わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す…彼
らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って
教えることはない。身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるから
だ…わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ」
- (ローマ 11:11,12) 「彼らがつまずいたのは、倒れるためなのでしょう。決してそうでは
ありません。かえって彼らの背きによって、救いが異邦人に及び、彼らにねたみを起
こさせるためです。しかし、彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富
となるというなら、何と偉大なことになるでしょう、彼らが満ちる(みな救われる)ことは」
- (ヨブ 28:12-14) 「知恵はどこで見つかるのか…それは生ける者の地では見つから
ない。深淵は言う。『私の中にそれはない』 海は言う。『私のところにはない』」
- (1 コリント 2:10) 「御霊はすべてのことを、神の深みさえも探られるからです」
- (詩篇 9:7,8) 「主(ヤハウェ)はとこしえに御座に着き さばきのために王座を堅く立てられ
た。主は義によって世界をさばき 公正をもって もろもろの国民をさばかれる」
- (詩篇 77:19) 「あなたの道は 海の中…あなたの足跡を見た者はいませんでした」
- (イザヤ 40:13) 「だれが主(ヤハウェ)の霊を押し量り、主の助言者として主に教えたのか」
- (ヨブ 41:11) 「だれが、まずわたしに与えたというのか。わたしがそれに報いなければ
ならないほどに。天の下にあるものはみな、わたしのものだ」
- (1 コリント 8:5,6) 「たとえ、神々と呼ばれるものが天にも地にもあったとしても…唯一の
神がおられるだけで、この神からすべてのものは発し、この神に私たちは至る」
- (ヨブ 42:1,5) 「あなたには、すべてができること、どのような計画も不可能ではないこと
を、私は知りました…私はあなたのことを耳で聞いていました。しかし今、私の
目があなたを見ました」
- (1 コリント 2:16) 「『だれが主の心を知り、主に助言するというのはですか。』しかし、私たち
はキリストの心を持っています」